



中橋からアリオを望む

このスケッチは東日本大震災から10日後に描いた。
被災地にはあらゆる方向のご冥福を祈ります。

文・イラスト: Nozaki Fumitaka

■ 図書館は文化とビジネスの架橋

秋田県立図書館を頻繁に利用するようになって、6年ほどになる。デザインやブランド開発を生業にしている私は、仕事の依頼を受けると同時に県立図書館のレファレンス・サービスを利用することにしている。

ピンポイントで情報提供をお願いし、回答を貰う時もあるが、どのような情報を探すべきなのかあいまいで漠然としている時がある。このような時でもレファレンス・サービスを使うと求める情報への手がかりを得られることが多い。この手がかりからさらに焦点をあてて、図書館で調査を開始するのであるが、長いときは2週間ほど要する時もある。

例えば食品のブランド化の依頼があった場合、その商品の歴史的な背景やエピソードを「文化的視点」から探る。この文化的視点が大切で、この視点から対象となる商品を練り、加工し、その上でデザインに入る。このことにより商品は差別化され、強い発言力を持って誕生する。

ヒット商品。ブランド創造。企業の生き残り。今、ビジネスに必要なのは文化力だ。その文化の砦ともいべき場所が図書館なのである。

デザイナーやマーケター、特に広告表現者は日常的に図書館のレファレンス・サービスを利用することを薦める。そして、顧客との”深い”コミュニケーション力を創造し、表現していただきたいものである。

ブランディングディレクター
秋田県立図書館協議会委員 野崎 文隆



公立図書館や学校図書館の役割強化

秋田県読書活動推進基本計画

本計画は、平成22年4月に「秋田県民の読書活動の推進に関する条例」が施行されたことを受けて、平成23年度からの5か年計画として策定されました。

秋田県教育委員会の「第二次県民の読書活動推進計画」を包括するものとなっており、県民一人一人が、読書活動に対する認識を深め、主体的に取り組む気運が醸成されるような内容になっています。

計画は次の4つの柱で構成されています。

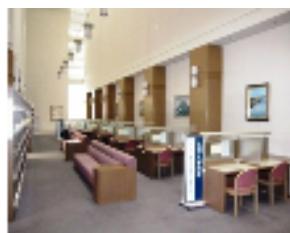
- 1 「県民が読みたい本を選択する場」や「本に親しむ活動の情報発信の拠点」機能の強化
- 2 県民・民間団体・企業等による読書活動の推進
- 3 読書をしやすい環境づくり
- 4 読書に関する県民運動の推進



【本に目がとまる学校図書館】



【読書支援員の活動の様子】



【落ち着いて読書できる空間】



【イベントでの読書推進活動】

柱の1は公立図書館、学校図書館の充実・活動強化、2は読書ボランティア等民間団体の活動推進、3は行政、学校、家庭、民間での様々な読書活動の進展、4はイベントや読書運動の推進を取り上げています。

すべての柱で公立図書館や学校図書館の役割が記載され、今後の活動強化に触れています。県立図書館でもこの計画を受けて、県内公立図書館、学校図書館、大学図書館等と連携しながら、読書推進を進めていきます。

家読推進プロジェクト代表 佐川さんを招いて

平成22年度秋田県図書館長会議

今年度の県図書館長会議では、「朝読」を全国に広め、今は「家読」を推進されている家読推進プロジェクト代表の佐川二亮氏から「広げよう家読！家族で読みニケーション」と題してご講演いただきました。「家読」は家庭内で家族がコミュニケーションを図りながら読書をする全国的な読書振興活動です。

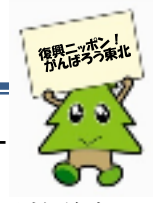


佐川氏からは全国での「家読」の事業の推進状況について詳しく説明があり、家族で同じ本を読むことにより、話題を共有したり、生き方を考えたりすることができるという実践例の紹介がありました。秋田県でも読書活動推進計画が策定され、その中でも「家読」の推進が記載されています。県立図書館でも様々な機会を捉え、「家読」事業をサポートしていきたいと考えています。

【家読プロジェクト公式HP】 <http://utidoku.com>

秋田県図書館長会議

- 主催 秋田県図書館協会・秋田県立図書館
- 日時：2月3日（木）12：40～16：00
- 場所：県立図書館 3階 多目的ホール
- 内容・平成22年度図書館行政説明
 - ・平成23年度秋田県図書館協会関係事業計画報告
 - ・平成23年度北日本図書館連盟、全国図書館関係事業報告
 - ・講演 『広げよう家読！家族で読みニケーション』 つぐすけ 家読推進プロジェクト代表 佐川 二亮氏



『詩人と歌の世界—歌ったり、話したり—』 第4回放送大学連携セミナー

秋田ゆかりの曲を文学的な背景から捉え、ピアノ伴奏により歌唱するセミナーが放送大学秋田学習センターと県立図書館の共催により開催されました。

始めに、秋田大学名誉教授である佐々木久春氏により、曲に関連する人物や歴史的、文化的背景が画像を交えてわかりやすく解説がありました。併せてテノール歌手の土崎宏人氏とピアノ伴奏の千葉多恵子氏により曲が歌唱されました。

今回紹介された曲は「秋田県民歌」、「出船」、「荒城の月」、「浜辺の歌」等7曲。「出船」は石川啄木により作詞され、能代港の風景を題材としたとの説もあることが佐々木氏から紹介される等、普段は知ることができない作曲者と作詞家の思いに触れながら、土崎氏の美声を楽しめるひとときとなりました。

- 主催 放送大学秋田学習センター
秋田県立図書館
- 第4回『詩人と歌の世界—歌ったり、話したり—』
講師：佐々木久春氏（秋田大学名誉教授）
歌：土崎 宏人氏（二期会会員）
ピアノ：千葉多恵子氏（ピアノ教室主宰）
- 日時：2月5日（土）13：30～15：30
- 場所：秋田県生涯学習センター（参加者67名）



利用者サービスの向上 インターネットサービス変更のお知らせ



短時間利用専用端末



一般利用端末

インターネット端末及びデータベース端末を、多くの方に快適にご利用いただくため、平成23年3月より、短時間利用専用端末を新設しました。また、利用方法についても、次のとおり変更がありましたのでお知らせします。

インターネット端末利用サービスの内容と申し込みについて

- 1回15分以内の端末利用サービス
 - ・インターネット端末（短時間利用専用 2台）
申し込みなく15分間まで利用できます。
- 1回1時間の端末利用サービス
 - ・インターネット端末（一般利用 4台・社会人専用 2台）
 - ・インターネットデータベース端末（新聞記事・判例等の検索用 2台）
申し込みが必要です。利用には、申し込み用紙の提出と、図書利用カード又は身分証の提示が必要となります。ご利用は1日2回までです。
 - ・小学生以下については、保護者の同意により、ご利用いただけます。

※詳細については、閲覧室に掲示している「秋田県立図書館利用者用インターネット端末利用規程」をご覧ください。



お知らせコーナー



■開館時間変更のお知らせ

東北地方太平洋沖地震による電力不足への対応のため、当分の間、県立図書館の閉館時間を17時にいたします。

■臨時テーマ展示の実施

【内容】地震、災害、安全、原子力等に関する本を紹介します。

【日時】平成23年3月14日(月)～
10:00～17:00

【場所】県立図書館閲覧室

■震災に関する臨時リンク集を秋田県立図書館ホームページに設置

【東北地方太平洋沖地震に係わる秋田県内公立図書館の被害状況】

秋田県図書館協会(事務局:秋田県立図書館)の調査によるものです。随時更新する予定です。URL <http://www.apl.pref.akita.jp/news/2010/201103higaijoukyou.html>

【震災に関する情報リンク集】

- 災害情報全般 ○被害地情報 ○安否確認 ○救援物資・ボランティア等受付
- 生活関連情報 ○秋田県内の災害情報 ○秋田県内の生活関連情報
- 秋田県内の報道機関 ○図書館関連情報

URL <http://www.apl.pref.akita.jp/news/2010/sinsailink.html>

■設備改修工事がすべて終了しました

設備改修工事では、利用者の皆さまに大変ご迷惑をおかけしました。工事期間中は、皆さまが快適にご利用できるように、図書館の掲示の変更、新コーナーの設置を行いました。

子ども読書支援センター支援員と図書館職員のお薦めの絵本コーナーを「えほんのへや」に新設。また、閲覧室の本を、わかりやすく分けするための色分けによる掲示、インターネットサービスの変更、出納時の時間短縮を目指した書庫内の整理・掲示を行いました。今後とも当館のサービスがより快適になりますよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



県立図書館だより

発行月 平成23年3月
編集発行 秋田県立図書館
住所 〒010-0952
秋田市山王新町14-31

TEL 018-866-8400
FAX 018-866-6200
018-866-8406

パソコン用URL <http://www.apl.pref.akita.jp>

携帯用URL <http://ill.apl.pref.akita.jp/m/>

図書館全般についてE-mail apl@apl.pref.akita.jp

資料のお問い合わせE-mail jouhou@apl.pref.akita.jp

